

国語(中二)(古典)(解答)

使用教材 「枕草子」(光村図書 P32～P33)



川越行マスケットキャラクター ときも

(1) とびいそぐさえあわれなり。

* 語句の最初の文字以外の〈は行〉の文字(は・ひ・ふ・へ・ほ)は、現代仮名遣いでは〈わ行〉の文字(わ・い・う・え・お)に直す。
※例外・・・複合語の場合はそのまま。(例：あきひ→あきひ(朝日))



〈その他の歴史的仮名遣い〉

* 枕草子第一段より

A 「む」↓「ん」(なむ言ひける↓なん言ひける)
B 「ア段十う」↓「オ段十う」(やうやう↓ようよう)
C 「ゐ・ゑ・を」↓「い・え・お」(をかし↓おかし)

(2) あけぼの……明け方をかし……趣がある

やうやう……だんだんと 次第につきつきし……似つかわしい

(3) (例) 趣がある ・ すばらしい など

* 「月が出ているところは言うまでもなく趣があるが、月が出ていない暗闇でも、蛍が多く飛び交っている様子は趣がある」ということ。

(4) 山ぎは

* 現代仮名遣いでは「山ぎわ」だが、抜き出し問題なので、「山ぎは」が正しい。

(5) エ

(6) 作者名……清少納言

作品の種類……随筆

☆ (7) 源氏物語……紫式部 徒然草……兼好法師(「卜部兼好」・「吉田兼好」とも言われる)



〈覚えておきたい「古典文学」〉

* () 内は作者名・【 】内は作品の種類

□ 枕草子(清少納言)【随筆】

□ 竹取物語(作者不明)【物語】

□ 源氏物語(紫式部)【物語】

□ 平家物語(作者不明)【軍記物語】

□ 方丈記(鴨長明)【随筆】

□ 土佐日記(紀貫之)【日記】

□ 徒然草(兼好法師)【随筆】

□ 伊勢物語(作者不明)【歌物語】